



久々のプレーを満喫 ゲートボール交流会

町内の愛好者が集まり企画されたゲートボール交流会が10月9日、総合運動公園で行われ、9チーム約50人が参加しました。開会式で町ゲートボール協会中崎和久会長は「コロナ禍で大会は開催できない状況ですが、来年からは再開したいと思います。今日は天気も良いので、楽しく親睦を深めてください」とあいさつし、今後のゲートボールの発展に意欲を見せていました。参加者たちは、仲間と久しぶりに顔を合わせたの交流を楽しんだ様子でした。

久しぶりの仲間との試合を楽しむ参加者



戦没者追悼式挙行 平和へ思い新たに

9月30日、葛巻小学校体育館で令和4年度町戦没者追悼式が行われ、町遺族会の会員ら約70人が参加しました。鈴木重男町長は「この日を迎えるたび、戦争の犠牲となった一人一人に思いを馳せます。皆さんの幸せのため、福祉向上を誓います」と式辞を述べ、町遺族会の鷲塚勝治会長は「戦没者の御霊に対し哀悼をささげ、恒久平和のため一層努力してまいります」と追悼のこトバを送りました。その後参加者は一人ずつ花を手向け、戦没者を悼みました。

花を手向け家族を追悼する参加者

新採用職員合同研修会 新たな葛巻の一面知る

10月14日、くずまき雇用サポートセンター主催の葛巻町新採用職員合同研修会がグリーンテージなどを会場に行われ、町内7事業所から11人が参加しました。参加者は第3セクターなどの町の主要施設を見学し、町の特色となる産業への理解を深めていました。また、鈴木重男町長から町の歴史や自身の就業経験談などを聞いた参加者は、町長に仕事への取り組み方などを質問し「職場で目標とする人を見つけ、その人を目指しましょう」とアドバイスを受けていました。



鈴木町長の講話を聞く参加者

盛農生が町内見学 仕事の理解深める

10月5日、くずまき雇用サポートセンターが基幹産業の担い手確保を目的に「牛とミルクのお仕事見学会」を開催し、県立盛岡農業高等学校の2年生31人が参加しました。生徒たちは、村澤由明さん（山岸）の牛舎見学のほかくずまき高原牧場や酪農ヘルパーの仕事の説明を受け、町の基幹産業と関連する仕事に理解を深めていました。酪農ヘルパーの木戸場真紀子さん（江川）は「ヘルパーは農家経営に寄り添うプロフェッショナルな仕事として誇りが持てる」とPRしていました。



村澤牧場の牛舎を見学する生徒



葛保園児が元気に 運動公園まで遠足

10月18日、葛巻保育園の遠足が行われ、年長と年中の児童19人が園から総合運動公園までの道のりを約1時間半かけて歩きました。友だちと仲良く手をつないだ園児たちは、赤や黄色に染まった木々を眺めながら総合運動公園に続く長い坂道を元気よく歩き、到着するとブランコや滑り台などの遊具で思い切り遊んでいました。その後芝生の上にシートを敷き、楽しみにしていたお弁当の時間。橋尻実和ちゃんは「遠かったけど頑張った」と笑顔を見せ、美味しそうにご飯を頬張っていました。

運動公園に続く坂道を元気良く歩く園児



スポーツで交流 町総体中期開催

10月9日、総合運動公園で第38回町民総合体育大会中期競技および第30回スポーツレクリエーション祭が開催されました。中期競技ではペタンクとグラウンドゴルフが行われ、ペタンクに出場した山谷紘さん（葛巻小5年）は「初めてだったけどボールを近づけられた」と、競技を楽しんだ様子でした。また、スポーツレクリエーション祭では、昨年からの後期競技に取り入れた「クッパ」と「ペタンク」の体験が行われ、参加者は誰もが気軽に取り組めるスポーツの面白さを体感していました。

ペタンクを体験する子どもたち